

任意団体 アジア農村協力ネットワーク岡山

ラオス北部ルアンナムター県「ナムハー地区」における農林業を通じた村おこし

果樹苗木の植栽	1,500 本
果樹やカルダモンから収入を得た世帯数	28 世帯
活動の全体目標に対する達成度	80%



結実を始めた果樹を確認するメンバー

◆成果と工夫したポイント

●成果

2015 年度にはキーパーソン 29 名のうち 28 名が、プロジェクトの支援により安定的に収入を得られており、今後、果樹の収穫量が高まることから、さらに収入が安定していく。この成功事例が地域に良い影響を与えていく。

●工夫

元気な枝を切る剪定作業に抵抗がある者に対しては、そこでは紐で引っ張って形を整える方法で指導した。

課 題

ルアンナムター県には生物多様性保護区「ナムハー」があり、その豊かな自然・生物を保護するため、地区内の少数民族の狩猟に依存する生活を改善する必要がある。

目 標

果樹園の造成と果樹栽培技術の移転を進めるとともに、果樹間に野菜を植えたり、薬用カルダモンの販売により、安定的な収入が確保できるように取り組む。

活動内容

- ①ランブータンの栽培方法について、花芽の分化期、開花期、結実期の水の供給が大切で、プロジェクトとしては水の供給方法としてポンプ整備や水路整備を行った。
- ②薬用カルダモンは定植後 3 年程度で収穫ができ、安定的な収入に結びつくことから、カルダモンの苗提供の支援を行った。
- ③野菜種子の提供を行うことにより、果樹苗木の間での野菜栽培が定着しつつあり、今までの自家消費だけでなく販売に結びついてきた。



ランブータンへの水やりを行うキーパーソン

達成できなかったこと

ランブータンの味や大きさ等の品質評価を高めるための、堆肥の施肥方法や水管理方法等の栽培技術の追求まで至らなかった。

今後の展望

キーパーソンの成功事例が広まることにより、「ランブータンの村」といった村おこしに発展していく。